

新基地建設反対名護共同センター ニュース

国が埋め立て本体工事に着手してから10年



島ぐるみ会議いとまんの大城規子さんは、十月に行つた海砂問題を提起する写真展(裏面で紹介)で、大浦湾に打ち込まれる予定の砂杭と同数の七万一千本の爪楊枝を立てたボードを展示し、新基地建設計画を可視化した際の反響を紹介。基地建設に使う海砂の採取地周辺で、白い砂浜海岸が侵食されている現状にも触れ「自然を守り基地のない未来をつくっていきたい」と訴えた。

来年一月の名護市長選挙で、基地依存や国の交付金頼みの現市政からの転換に挑む「おながクミコ」氏は、「市长選は現職との闘いではなく、国との闘い！」と強調。全県からの支援を受け勝利をめざすと訴えた。

那覇市から参加した新垣美智子さんは、「十年の間に、県民投票も県民大会もあり、いろんな場面で、基地反対の意思を示し続けてきたが、少しも届いていない。やりきれない思いだと振り返った。

透き通る青い海と真っ白な砂浜の海岸線が消える7万1千本の杭

辺野古新基地建設の 海砂採取問題2

大浦湾の北東側に続く名護市嘉陽の沿岸部には、浅瀬の砂地に海草藻場が広がっており、2018年12月まではジュゴンの食み跡が非常に多く確認されていました。航空機調査でも個体の出現率が高い海域でした。音に敏感なジュゴンが埋め立て工事が始まった2017年以来、数少ない大切な餌場を放棄したことは想像に難くありません。残された海草藻場を全て守らねばジュゴン投票も県民大会もあり、いろんな場面で、基地反対の意思を示し続けてきたが、少しも届いていない。やりきれない思いだと振り返った。

玉城デニー県知事からは、「普天間飛行場の一日も早い危険性の除去は、政府と沖縄県の共通した課題で、辺野古新基地を含む沖縄の加重な基地負担の軽減を図るために、政府に対し、申し上げるべきことは申し上げ、問題点を指しながら必要に応じて連携して取り組んでいく等」のメッセージが寄せられた。

ゴン個体数の回復は見込めないので、沖縄島最大規模の海草藻場を新基地建設で埋め立ててしましました。

そして今度はジュゴンの食み跡が無数にあった嘉陽沖(陸から1キロ)で大量の海砂採取をしているのです。海砂は有限ですし、やがて沿岸部からは砂地も減少するでしょう。いま日本政府と沖縄防衛局は、ジュゴンが戻れる海草の繁茂する海を完全に失くそうとしているのです。



天仁屋沖や嘉陽沖で海砂を採取している船

海砂採取によるさまざまな生態系への影響



大浦湾内で砂杭を打つSCP船(左)とA護岸鋼管杭打設船(右)



2023年以降にジュゴン生息痕が確認された伊平屋島沖から大浦湾内へ運ばれた「真っ白な海砂」

海上行動チーム K.N

- ◎海砂の採取は底生生物と共にバキュームで吸い上げられ生態系を著しく破壊する。
- ◎採取時は周囲へ汚濁水を放出するため、拡散した汚濁物が日光を遮り、光合成を必要とするサンゴや海草(うみくさ)を死滅させる。また海草そのものが絶滅の恐れのある希少植物である。
- ◎海砂採取による海底地形の改変は、沿岸部の砂地消滅に繋がる。
- ◎底生生物は海洋生物の生存を根本から支えており漁業資源の枯渇をも招く。
- ◎重要な観光資源でもあるサンゴ礁や砂浜消失など、将来にわたり固有の自然を消滅させる。
- ◎沖縄近海の海砂は主に生物由来で、供給は極めて困難であり有限である。
- ◎陸から1キロという採取許可海域は、元来生物の多様性に富んだところである。
- ◎全世界で、また政府も取り組む【持続可能な社会】の実現に逆行する。
- ◎慶良間諸島国立公園、沖縄海岸国定公園、ジュゴン生息痕確認区域、生物多様性的の保全上重要度の高い海域、などの区域内や付近より海砂を採取する本計画は【辺野古新基地建設の環境へ及ぼす影響は甚大である】と断言できる。

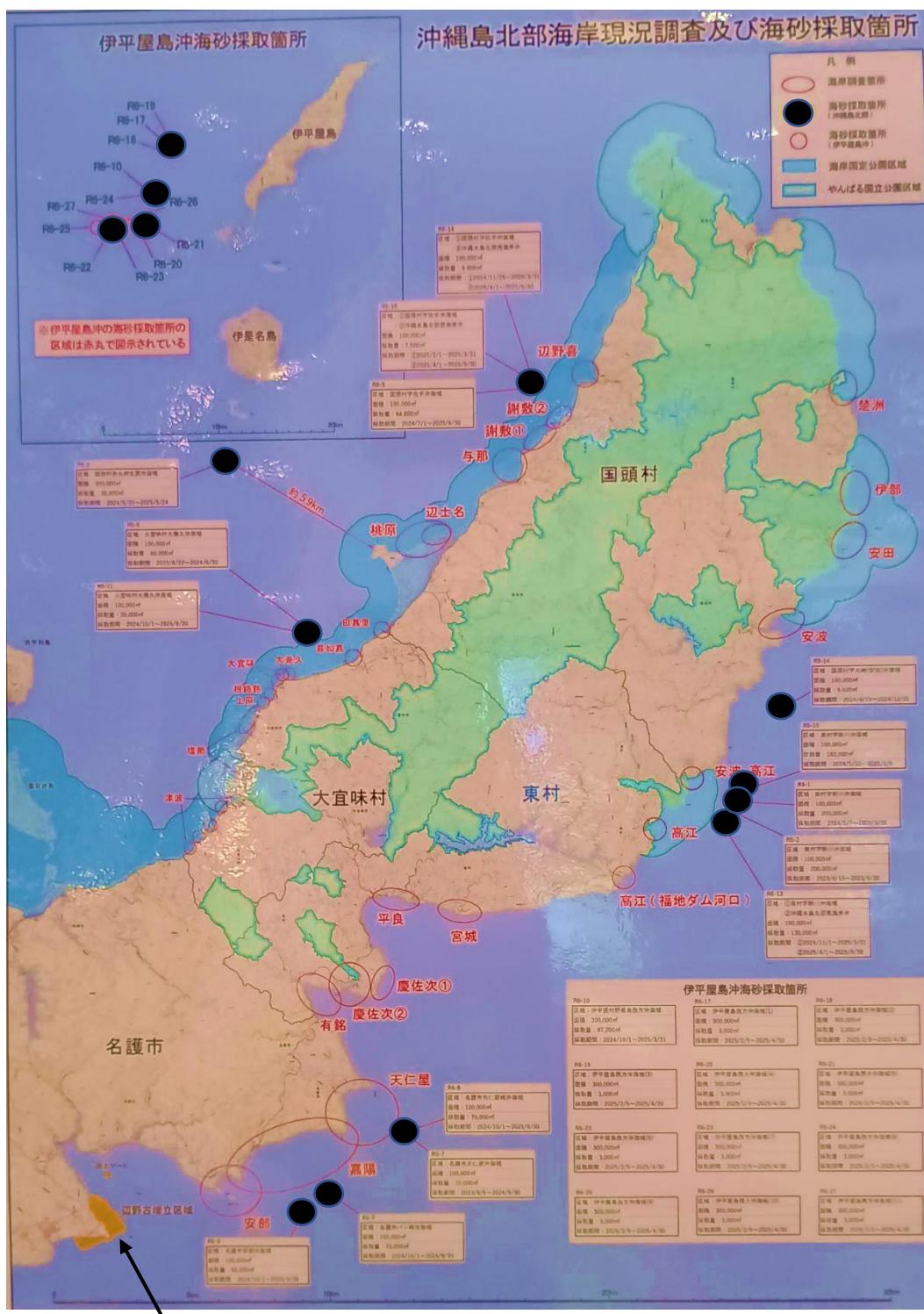
那覇市で写真展 砂杭に使う海砂大量採取で自然・環境破壊に拍車！

やんばる周辺の
海砂採取による砂
浜の消滅危機と、
辺野古新基地建設で7万1千本の砂
杭を打つ計画の問
題を伝える写真展
(沖縄の海岸の豊
かな自然を守る実
行委員会主催)が那
覇のタイムスビ
ルの玄関ロビーで
行われた。

主催者は、「今後県庁など各自治体庁舎の玄関などで取り組んでいきたい」と話している。

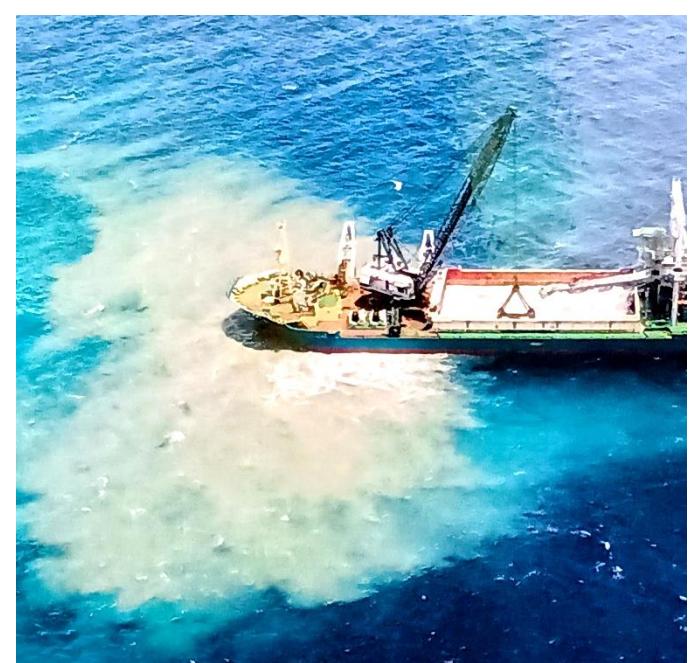


海砂採取で砂浜が消えている。砂杭でこれに拍車が・



辺野古新基地建設場所

●印が海砂採取場所。国立公園内でも採取！



海底の海砂をバキュームで吸い上げ採取
一緒に吸い上げられた小動物の命は？



辺野古に砂杭を打つ作業船6隻が集結